

# 経営比較分析表

滋賀県 大津市

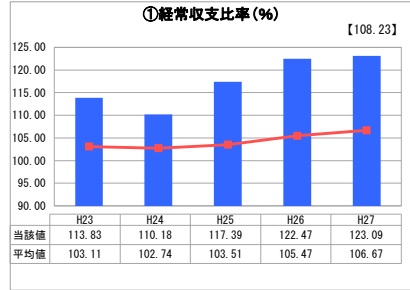
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	62.60	96.76	77.32	2,878

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
342,434	464.51	737.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
331,076	53.13	6,231.43

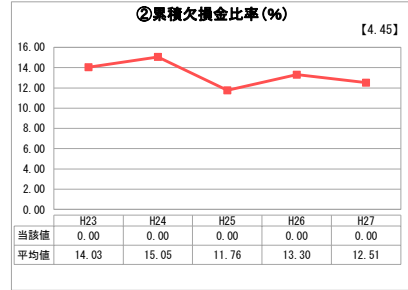
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

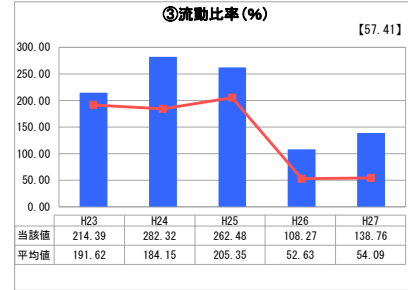
## 1. 経営の健全性・効率性



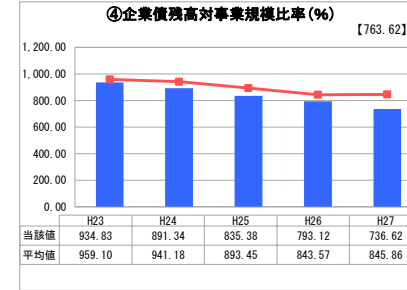
「経常損益」



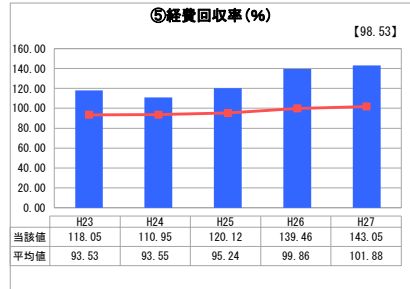
「累積欠損」



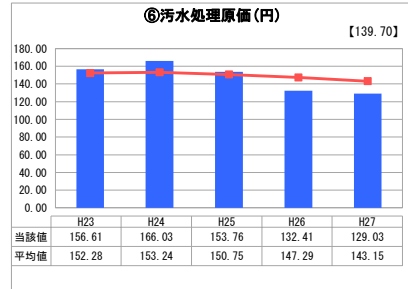
「支払能力」



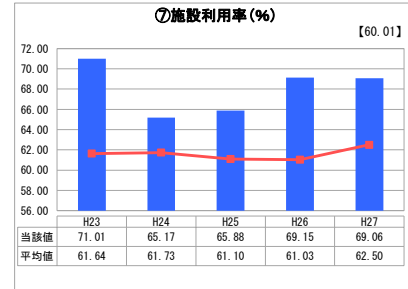
「債務残高」



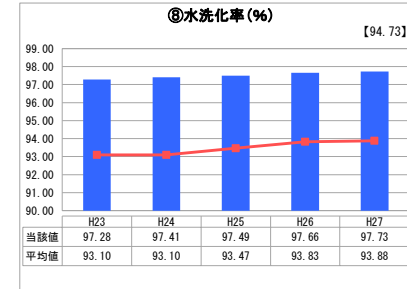
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

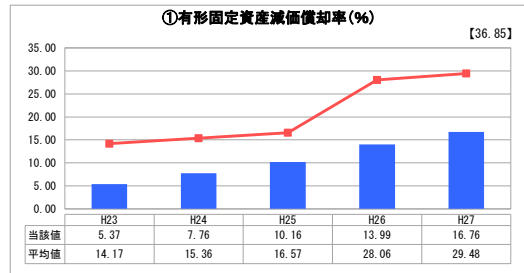


「施設の効率性」

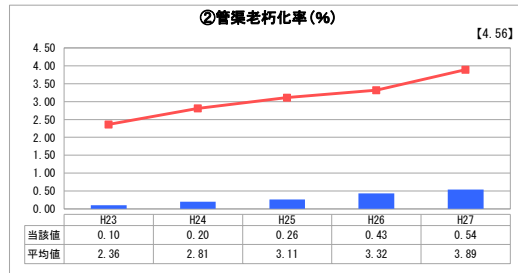


「使用料対象の捕捉」

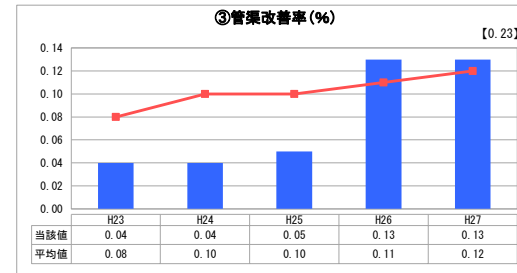
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、③ 流動比率及び⑤ 経費回収率の平成27年度の数値は、それぞれ100%以上となっており、また、全国平均及び類似団体平均よりも大きい値となっている。④ 企業債残高対事業規模比率については、平成23年度より減少が続いており、平成27年度は全国平均及び類似団体平均よりも小さい値となっている。⑦ 施設利用率については、平成26年度とほぼ横ばいであり、また、全国平均及び類似団体平均よりも大きい値となっている。⑧ 水洗化率については、平成23年度より増加が続いており、また、平成27年度の数値は、全国平均及び類似団体平均よりも大きい値となっている。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率及び② 管渠老朽化率については、年々数値は上がっているものの、平成27年度の数値は全国平均及び類似団体平均よりも小さい値となっている。また、③ 管渠改善率については、平成23年度より増加傾向となっている。

### 全体総括

1. 経営の健全性・効率性の平成27年度の数値については、全国平均及び類似団体平均との比較においても概ね良好な状態であるといえる。しかし、一般会計からの繰入金により経営を行っている状況から、今後も経営の状態については常に把握し、より一層、経営の効率化に努めていく必要がある。  
2. 老朽化の状況については、長寿命化計画やアセットマネジメントに基づき、費用の平準化に努めつつ、効率的な施設の改築更新や修繕等を行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。  
※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。